



発行日:平成26年 9月1日(四半期発行)  
介護老人保健施設ケアポート・田谷機関紙  
〒244-0844 横浜市栄区田谷町 2030-3  
TEL:045-858-5882  
発行責任者:吉田憲一

## 第11回 ケアポート・田谷夏祭り

# スツンスツンドーンドーンⅡ

夏祭り実行委員長:橘 和豊



残暑厳しいおり、皆様ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

本年も夏の恒例行事、夏祭りが開催されました。例年同様、猛暑の中での開催となりましたが、地域のボランティアの方々のご協力やご家族の皆様に参加して頂き、大変盛り上がった夏祭りとなりました。心より感謝申し上げます。

本年も昨年から始めた職員の出し物「和太鼓演奏」をさせて頂きました。メンバーにはもちろんあの男はかかせません。そうです、ケアポート田谷一の大男！なぜか？今年は昨年以上に肌の色が真っ黒です。その他は昨年のメンバーから一名入れ替わりディケアの上野さんが参加となりました。太鼓は今年も千秀小学校からお借りできました。昨年以上の猛特訓の始まりです。指導者でもある坂本さんは昨年経験しているメンバーには容赦はしません。姿勢・叩く角度・掛け声・テンポが少しでも違うとやり直し！ばちを握る手の豆がやぶれ、血まみれになりながら練習を繰り返しました。なんとか本番前に合格点をもらい、あとは当日を待つのみです。昨年経験しているといつてもやはり本番は緊張も



あってかテンポが速くなってしまったところがありました。あとはなんと坂本さんのばちが飛んでしまうアクシデントがありました。しかし、すかさず予備のばちを持ち直しリズムがずれないように立て直しました。もしかしたらギャラリーを盛り上げるための彼の高度な演出だったのかもしれません。おかげで？とても盛り上がり、ありがたい





ことにアンコールのリクエストまでいただきました。さすがに体力的に連続での演奏は難しく、予定通りフィナーレの花火の前に2回目の演奏となりました。皆様楽しんでいただけましたでしょうか？

もうひとつのアクシデントとして、昨年は屋台新メニューのソフトクリームに押され、売り上げがいまひとつだったかき氷が今年は予想以上に好評で、早々に氷がなくなってしまったことです。16時のお祭りの始まりとともに飛ぶように売れていきました。途中で氷を買出しに行きなんとか販売再開しましたが、人気があるメニューが毎年異なるため、仕入数を予想するのが難しいのが頭の痛いところです。完売となってしまい、皆様に迷惑をかけないよう多少余るくらい余裕を持って、準備しておく必要があったと反省しております。

毎年数ヶ月前から準備をしていますが、当日はバタバタとあつという間の1日でした。大きな行事、特に夏祭りは年に一度だけですが、今回の夏祭りが、ケアポート・田谷のご利用者やご家族の皆様の心に残る良い思い出となっていただけました幸いです。まだまだ暑い日が続いておりますが、皆様の秋が実り多きものとなりますようお祈り申し上げます。

残暑厳しく、暑い日が続いていますね。今年も夏を彩る一大イベント”ケアポート・田谷夏祭り”を8月3日に実施しました。今年も職員の演物である和太鼓もあり、これまで最も盛り上がったお祭りとなりました。写真と共に当日の雰囲気をお届けしたいと思いますので、是非ご覧になってください。

## それぞれの笑顔

ハピニング。”ドンドンドン”夕方から始まる夏祭りは太鼓の演奏からスタート。いつもは口にできないソフトクリームをおいしそうに食べいらっしゃったり、私が担当していたフランクフルト売り場では何度も食べに来られたり、短時間でしたが利用者様各自



午前中、2階フロアで行ったスイカ割りでは、大きなスイカがなかなか手強く、多数の利用者様や職員まで動員してやっと「カバッ」となる





思い思いの時間を過ごせることができました。笑顔も多くみられ、生き生きしている利用者様をとても嬉しく思いました。ちょうど暗くなる時間に二度目の太鼓演奏&締めくくりの花火。雨にも降られず、吹いていた強風もいつの間にかなくなり、最後のナイアガラ花火まで行うことができました。いつもは夜起きられていない利用者様も最後まで1階会場にて観覧して頂けたことはご家族様にも良い思い出になったのではないでしょうか？

来年も、今年同様ご家族の方にも多数参加して頂きたいと思います。夏まつりの写真をみてみると、家族との写真には職員と写っている表情とは違う格別に明るい笑顔があります。 2階 介護:中山



## 暑い日の思い出



今年の夏  
祭りも暑い



中での開催で、風も時より強く吹く状態でした。そんな中でも、暑さをものとせず、皆様とても楽しめていていました。ゲームコーナーや写真コーナー、又、フランクフルトや焼きそば、かき氷等々の屋台、記念写真を撮

ったり、美味しそうに食べられている姿が印象的でした。去年から開始した、職員による太鼓の演奏、夜空を彩る花火に、皆様大きな拍手喝采でした。

毎年暑い中での開催ですが、来年も暑さに負けない夏祭りが、開催できたらと思います。

3階 介護:渋谷



## ついに始動!! デイケア夏祭り

夏真っ盛り！冷夏を噂される今年の夏でしたが、到来してみればそんな事もなく、連

日の暑さの中ケアポート・田谷の夏祭りは開催されました。デイ職員はエントランス付近にゲームコーナーと写真コーナーを構え、訪れた皆様に楽しんでいただこうと元気に声を上げていました。太

鼓の演奏や花火の演出も花を添えて、今年の夏祭りも盛況の中、幕を閉じました。

さて、デイケアは明けて翌日からが本番です。例年は施設全体の行事としてご参加していただいていた夏祭りを、今年からは8月4日から9日の一週間

「デイケアの夏祭り」として行うこととなりました。

ミニ屋台では、たこ焼き・焼き鳥・フランクフルト・カキ氷をご用意し、イベントは日替りでスイカ割りと射的を楽しんでいただきました。また景品は職員が夜なべをして作った手作りの箸置きやキーholder等を選んでいただきました。お祭りの最後には、施設の夏祭りで行われた和太鼓の演奏をスライド上映しました。第一回ということで準備や進行は手探り状態で

終始バタバタとしましたが、利用者の方々からは「とても楽しかった♪」「お祭り気分を満喫できた！」との声をいただきました。今年で11回目を迎えた施設の夏祭りのように、いずれはデイケアの夏祭りも「ケアポート・田谷の定番行事！」として皆様に楽しんでいただけるよう今後も努力していくと思います。

通所介護:大塚



今年で12回目となる介護老人保健施設研究大会が、7月5日にパシフィコ横浜で開かれました。当施設も技術・知識の研鑽を目的に、今回も発表を行いました。そして今回は優秀演題として選ばれました。これからもこの経験を日々の業務に生かし努力していきたいと思います。

○発表タイトル 「楽しいね! 生きる価値を見いだすために」  
機能訓練では出来ないことを補う試み

リハ科:松浦 坂本

横浜市介護老人保健施設研究大会が開催され、今年はリハビリ科が初めて演題発表を行いました。入所利用者様を対象に実施している『作業活動』において、「多くの方に意欲的に参加していただけるためには?」について考え、実践した取り組みを発表いたしました。多くの利用者様・職員の皆様に支えていただき、当日は無事に発表を終えることが出来ました。日々の活動のなかで「多くの方に興味を持っていただくにはどうすれば良いか」というのが、職員の中でも悩ましいところでした。沢山の方に作業活動を体験していただきやすくすることで、結果的には多くの方が活動に興味をもっていただくことになり、意欲的に活動に取り組まれるようになりました。今回の演題発表に向けて取り組んでいくなかで、活動を行う目的や利用者様が求めるニーズを再考する良い機会になったと感じます。今回の発表で得たことを、より今後の活動に活かしてまいりたいと思います。

